

# 『松ヶ崎・岩首地区の魅力を多くの方に知ってほしい』

～地域の魅力をサポートします～  
われら地域おこし協力隊

松ヶ崎・岩首地区担当 渡部 晴菜

松ヶ崎小中学校には、学校林作業や遠泳大会など自然の中で学び挑戦する教育活動や、地域の方々と一緒に作り上げる運動会、文化祭など特色ある行事が多くあります。

自然豊かな環境の中で地域の方々に見守られながら小中学生は生き生きと学校生活を送っています。

佐渡市で「特色ある教育」を実施している学校に就学を希望する場合、学区外からの就学許可が受けられる制度が導入され、市内外から児童・生徒の受け入れを始めるため、松ヶ崎小中学校の見学・説明会を学校の先生方や地域の方などの協力を得ながら開催してきました。

また、昨年には島外のご家族を対象とした「佐渡暮らし移住体験親子モニターツアー」も開催し、地域住民との交流を通して、地域の暮らしや学校生活を体験していただきました。

今後も松ヶ崎・岩首地区の魅力を多くの方に知っていただけるようさまざまな取り組みをしていきたいと考えています。

☎地域振興課 地域振興係 ☎63-4152



地域の方と一緒に汗を流した学校林作業の様子

## 市立病院から こんにちは

両津病院 霍間 勇人 先生 診療科目/内科

その薬、飲み続けた方がいい？  
やめた方がいい？

急に具合が悪くなった時や、高血圧、糖尿病などさまざまな持病で定期受診して病院から処方される薬がありますが、その薬を続けた方がいいか、それとも副作用が心配だから薬をやめてしまいたいと考えたことがあるかもしれません。

基本的に処方された薬を勝手にやめたりするのはよくありません。特に定期受診している患者さんの処方箋は、医師はしっかりと飲んでいくという前提で診察をしています。飲んでいないことが医師に伝わらないと正しい診察をすることができません。患者さんの判断で薬を調整して良い場合は処方する際に医師から自分で調整して良いと説明があります。例えば、自分で調整して良い薬は便秘薬や風邪薬などがありますが、自分で調整できる薬は限定的です。

処方した薬はきちんと飲んでほしいのですが、「毒を以て毒を制す」ということわざがあるように、どんな薬にも副作用があります。

医師は処方した薬の副作用が起きていないか、注意しながら診察をします。処方する際も、薬による不利益よりも利益が大きいと考えられる場合に処方します。副作用が起きやすい薬、副作用の与える影響が大きいと考えられる場合には、その副作用について丁寧に説明をするように心がけています。一方で薬を絶対やめてはいけない場合は、何度も「必ず飲んでください」と説明をします。

薬を飲む理由は患者さんそれぞれですが、薬について分からないことがあれば医師や薬剤師にお聞きください。

次は両津病院の猪本先生です。

